

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-330690 (P2000-330690A)

【公開日】平成 12 年 11 月 30 日 (2000.11.30)

【出願番号】特願 平 11-177317

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 3/02

G 0 6 F 15/02

H 0 4 M 1/02

H 0 4 M 1/23

H 0 4 M 1/247

H 0 4 M 1/26

H 0 4 M 11/00

【 F I 】

G 0 6 F 3/02 3 1 0 A

G 0 6 F 15/02 3 1 0 Z

H 0 4 M 1/02 C

H 0 4 M 1/23 P

H 0 4 M 1/247

H 0 4 M 1/26

H 0 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 18 日 (2005.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】 携帯情報機器の入力システム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

文書入力機能が備わっている携帯情報機器において、表示画面がある主面の辺を陵辺として接している面を側面としたとき、文字入力用の入力キーが側面に配置されてあることを特徴とする携帯情報機器の入力システム

【請求項 2】

請求項 1 において、側面に少なくとも第 1 キーから第 5 キーまでの 5 個の文字入力用キーが、片手で機器を握った時に第 1 キーを親指、第 2 キーを人差し指、第 3 キーを中指、第 4 キーを薬指、第 5 キーを小指で操作するように配置されてあることを特徴とする携帯情報機器の入力システム

【請求項 3】

請求項 2 において、側面に突起状の保持棒が設けられてあることを特徴とする携帯情報機器の入力システム

【請求項 4】

請求項 3 において、上記保持棒が、装置本体内に収納可能であることを特徴とする携帯情報機器の入力システム